

### Ⅲ 写真管理基準

# 目 次

写真管理基準	1
撮影箇所一覧表	I - 1
品質管理写真撮影箇所一覧表	II - 1
出来形管理写真撮影箇所一覧表	
第1編 共通編	III - 1
第3編 土木工事共通編	III - 5
第6編 河川編	III - 4 6
第7編 河川海岸編	III - 4 9
第8編 砂防編	III - 5 2
第9編 ダム編	III - 5 4
第10編 道路編	III - 3 1
その他	III - 5 5
別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」	別紙 - 1

# 写真管理基準（案）

## 1. 総則

### 1-1適用範囲

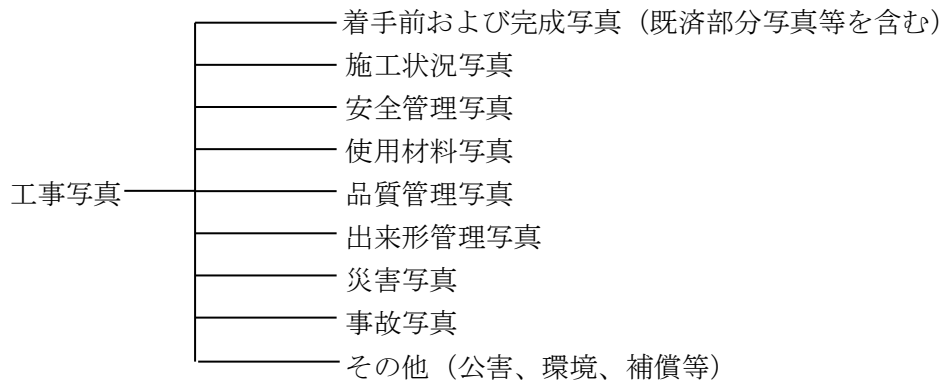
この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

### 1-2工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



## 2. 撮影

### 2-1撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

### 2-2撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写しこむものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法
- ⑥略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。また、特殊な場合で監督職員が指示するのは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

### 2-3情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザース

キャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

#### 2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

#### 2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

#### 2-6撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3:4程度とする。(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

#### 2-7撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

電子媒体は「電子納品の手引き(案)福井県版」に従って提出するものとする。なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

### 4. その他

撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。

撮影箇所一覧表（全体）		写真管理項目			摘要
区分		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景または代表部分写真	着手前1回〔着手前〕	着手前1枚	
	完成	全景または代表部分写真	施工完了後1回〔完成後〕	施工完了後1枚	
施工状況	工事施工中	全景または代表部分の工事進捗状況	月1回〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜〔施工中〕		
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回〔施工前後〕	代表箇所1枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて〔発生時〕 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、撮影毎に1回〔発生時〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に1回〔発生時〕	不要 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納） ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、代表箇所各1枚	工事打合簿に添付する。

撮影箇所一覧表（全体）		写真管理項目			摘要
区分		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕	不要	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回〔検査時〕		
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来高管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督職員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況および被災規模等	その都度〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害または損害状況等	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回〔設置後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（品質管理）		写真管理項目			概要
番号	工種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリート ダム・覆工コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験 に使用したコ ンクリートの 供試体が、当 該現場の供試 体であること が確認できる もの
		スランプ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定			
		コンクリートの曲げ強度試験			
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリート ダム・覆工コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工後試験)	コアによる強度試験	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕	不要	コンクリート 舗装の場合適 用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		コンクリートの洗い分析試験			
		ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕		
		テストハンマーによる強度推定調査			
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕	不要	
		浸透探傷試験			
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		プルフローリング			
		平板載荷試験			
		骨材のふるい分け試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要	



撮影箇所一覧表（品質管理）					
番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粘度	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホールラッキング試験			
		ホールラッキング試験			
		ラベリング試験			
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		温度測定			
		外観検査			
		すべり抵抗試験			
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定（コンクリート）	コンクリートの種類毎に1回 〔温度測定中〕		
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		コアによる密度測定			
10	グースアスファルト舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		リュエル流動性試験240℃			
		ホールラッキング試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	グースアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング			
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）					
番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
11	路床安定処理工	たわみ量	ブルフローリングの不良個所について実施 〔試験実施中〕	不要	
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		現場密度の測定	材質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		ブルフローリング	工程毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		現場CBR試験			
		たわみ量	ブルフローリングの不良個所について実施 〔試験実施中〕		
13	固結工	土の一輪圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験 空気量測定			
		コアによる強度試験			
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	モルタルを除く
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験			
		スランブ試験			
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験			

撮影箇所一覧表（品質管理）					
番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
18 19	河川・海岸土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕		
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
21	道路土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	土質毎に1回 〔試験実施中〕		
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕		
		たわみ量	ブルーローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕		
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地または岩質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			
23	コンクリートダム（材料）	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		骨材の密度および吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回 〔試験実施中〕		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験			
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回 〔試験実施中〕		
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験					
練り混ぜ水の水質試験					

撮影箇所一覧表（品質管理）								
番号	工種	写真管理項目			概要			
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
23	コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要				
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕					
		空気量測定						
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕		不要	圧縮強度試験 に使用したコン クリートの 供試体が、当 該現場の供試 体であること が確認できる もの		
		温度測定				気温・コンク リート		
		コンクリートの単位容積質量試験						
		コンクリートの洗い分析試験						
		コンクリートのフリージング試験						
		コンクリートの引張強度試験						
		コンクリートの曲げ強度試験						
24	覆エコンクリート (N A T M)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要				
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕					
		塩化物総量規制						
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕					
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕					
		コンクリートの洗い分析試験						
25	吹付けコンクリート (N A T M)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験 に使用したコン クリートの 供試体が、当 該現場の供試 体であること が確認できる もの			
		コンクリートの圧縮強度試験						
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕					
		空気量測定						
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕					
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回					
		26	ロックボルト (N A T M)		モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
					モルタルのフロー値試験			
ロックボルトの引抜き試験	適宜							

撮影箇所一覧表（品質管理）										
番号	工種	写真管理項目			概要					
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度						
27	路上再生路盤工 (材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要						
		土の粒度試験								
		土の含水比試験								
		土の液性限界・塑性限界試験								
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕							
		土の一軸圧縮試験								
		CAEの一軸圧縮試験								
		含水比試験								
28	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要						
		旧アスファルトの軟化点								
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕							
		温度測定								
		かきほぐし深さ								
		粒度								
		アスファルト量抽出粒度分析試験								
	29	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度			合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要			
アスファルト量抽出粒度分析試験										
温度測定										
水浸ホールトラッキング試験										
ホールトラッキング試験										
ラベリング試験										
カンタブ試験										
排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)		温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕							
		現場透水試験								
		現場密度の測定								
		外観検査								
		30		プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕			不要	
					再生アスファルト量					
					水浸ホールトラッキング試験					
ホールトラッキング試験										
ラベリング試験										
プラント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査		合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕							
	温度測定									
	現場密度の測定									

撮影箇所一覧表（品質管理）		写真管理項目			概要
番号	工種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
31	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 〔現物照合時〕	不要	
		在庫品切出	当初の物件で1枚〔切出時〕※ 他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回または1工事に1回 〔試験実施中〕		
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
33	溶接工	引張試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて〔試験実施中〕		
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
		土の一軸圧縮試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要	

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
1	共通編	2	土工	3	河川・海岸・砂防土工	2	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2  ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況 と出来形計測対象 点上のプリズムの 設置状況（プリズ ムが必要な場合の み）がわかるよう に撮影
							法長 ※右のいずれかで撮影する。	200mまたは1施工箇所に1回 〔掘削後〕	<p>「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回〔掘削後〕</p> <p>「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。</p>		

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
1	共通編	2	土工	3	河川・海岸・砂防土工	3	盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-3
								締固め状況	転圧機械または地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
								法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕		
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要  「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回〔施工後〕 「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影		
1	共通編	2	土工	3	河川・海岸・砂防土工	4	盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-4



撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			概要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
1	共通編	2	土工	3	河川・海岸・砂防土工	5	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況	120mまたは1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-5
1	共通編	2	土工	3	河川・海岸・砂防土工	6	堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-6
1	共通編	2	土工	4	道路土工	2	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-2
							法長 ※右のいずれかで撮影する。	200mまたは1施工箇所 に1回〔掘削後〕			・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況 と出来形計測対象 点上のプリズムの 設置状況（プリズ ムが必要な場合の み）がわかるよう に撮影
								「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回〔掘削後〕			
								「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。			

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
1	共通編	2	土工	4	道路土工	3 4	路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-3
									「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
								締固め状況	転圧機械または地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
		法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕		「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕 「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影				
1	共通編	2	土工	4	道路土工	5	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況	200mまたは1施工箇所に1回〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目			摘要	
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
1	共通編	3	無筋鉄筋コンクリート	7	鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回(重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所各1枚	1-3-7-4
									かぶり	コンクリート打設毎に1回(重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所各1枚	
1	共通編	3	無筋鉄筋コンクリート	7	鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚 〔試験種別毎〕	1-3-7-4
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40mまたは1施工箇所1回 〔打込前後〕	代表箇所各1枚	3-2-3-4
									変位	40mまたは1施工箇所1回 〔打込後〕		
									数量	全数量〔打込後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	5		縁石工 (縁石・アスカープ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	不要	3-2-3-5
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	不要	3-2-3-6
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-7
									パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	8	1	路側防護柵工 （ガードレール）	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 （※印は現場打ち部分がある場合） 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
								ビーム取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	8	2	路側防護柵工 （ガードケーブル）	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 （※印は現場打ち部分がある場合） 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
								ケーブル取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	9		区画線工	材料使用量	全数量〔施工前後〕	不要	3-2-3-9
								出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	10		道路付属物工 （視線誘導標） （距離標）	高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	3-2-3-10
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	11		コンクリート面塗装工	材料使用量 （塗料缶）	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-11
								素地調整状況 （塗替）	スパン毎、部材別 〔施工前後〕			
								塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要			
										3	土木工事共通編	2
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 [製作後]	代表箇所 各1枚	3-2-3-12
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	13		ポストテンション桁製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	3-2-3-13
									幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 [型枠取外後]		
									中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 [施工時]		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	14	1	プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 [製作後]	代表箇所 各1枚	3-2-3-14
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	14	2	プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	1スパンに1回 [組立時]	代表箇所 各1枚	3-2-3-14
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	15		PCホーラスラブ製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	3-2-3-15
									幅 厚さ	桁毎に1回 [型枠取外し後]		
									中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 [施工時]		

撮影箇所一覧表 (出来形管理)						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	16	1	PC箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-16
									幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
									内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
									中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	16	2	PC押し箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-16
									幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
									内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
									中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	17		根固めブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-17
									ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	18		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-2-18
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	19		捨石工	幅	200mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-19

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	22	階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-22
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	24	1 伸縮装置工(ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-24
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	24	2 伸縮装置工(鋼製フィン ガージョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-24
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	26	1 多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120mまたは1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-26
								法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	26	2 多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-26
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	27	1 羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-27

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-27
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス エ) (プレキャストパイプ エ)	据付状況	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-28
									※幅 ※高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 (※印は場所打ちのある場 合)〔埋戻し前〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側 溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200mまたは1施工箇所 に1回〔埋戻し前〕	不要	3-2-3-29
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-29
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	29	3	暗渠工	幅 深さ	120mまたは1施工箇所 に1回〔埋戻し前〕	不要	3-2-3-29
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	30		集水樹工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 (型枠取外し後)	不要	3-2-3-30



撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	31	現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-31
							ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
							塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	1	基礎工 一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	3-2-4-1
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	3	基礎工 基礎工護岸 (現場打)	幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-3
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	3	基礎工 基礎工護岸 (プレキャスト)	据付状況	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-3
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	4	基礎工 既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所 に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-4
							根入長	1施工箇所 に1回 〔打込前〕		
							数量	全数量〔打込後〕		
							杭頭処理状況	1施工箇所 に1回 〔処理前、中、後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	5	場所打杭工	根入長	1施工箇所1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	3-2-4-5
								偏心量	1施工箇所1回〔打込後〕		
								数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後		
								杭頭処理状況	1施工箇所1回〔処理前、中、後〕		
								鉄筋組立状況	1施工箇所1回〔組立後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	6	深礎工	根入長	全数量〔掘削後〕	代表箇所各1枚	3-2-4-6
								偏心量 数量、基礎径	全数量〔施工後〕		
								ライナープレート設置状況	1施工箇所1回〔掘削後〕		
								土質	土質が変わる毎に1回〔掘削中〕		
								鉄筋組立状況	全数量〔組立後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	7	オープンケーソン基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕	全枚数	3-2-4-7
								ケーツの長さ ケーツの幅 ケーツの高さ ケーツの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回〔設置後及び型枠取外し後〕		
								載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
								封鎖コンクリート打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	8	ニューマチックケーソン基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-8	
								ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後および型枠取外し後〕			
								載荷状況	1基に1回〔載荷時〕			
								封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	9	鋼管矢板基礎工	沓	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-9	
								根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回 〔設置後〕			
								載荷状況	1基に1回〔載荷時〕			
								封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張り）	厚さ（裏込）	120mまたは1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-3
								法長 厚さ （ブロック積張）	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工 （連節ブロック張り）	法長	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに 1回	代表箇所 各1枚	3-2-5-3
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工 （天端保護ブロック）	幅	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-3

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			概要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	ブロック積（張）工	4	緑化ブロック工	厚さ（裏込）	120mまたは1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-4	
								法長 厚さ（ブロック）	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1 回			
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	ブロック積（張）工	5	石積（張）工	厚さ（裏込）	120mまたは1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-5	
								法長 厚さ（石積・張）	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1 回			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕											

撮影箇所一覧表 (出来形管理)							写真管理項目			摘要
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7 3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】			
						厚さ	1,000m <sup>2</sup> に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【整正後】			
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】			

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			概要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
									タックコート、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
									タックコート、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									平坦性	1工事に1回〔実施中〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8 1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		



撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
									校正状況	各層毎400mに1回 【修正後】		
									厚さ	各層毎200mに1回 【修正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【修正後】		
								幅	各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回【修正後】			

撮影箇所一覧表 (出来形管理)								写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目			摘要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工 （基層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工 （表層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									浸透性の注入状況	400mに1回 〔注入時〕		
									平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	9	1	排水性舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕											

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」により 「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕											

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									幅	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	9	5	排水性舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	9	6	排水性舗装工 (表層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1 透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】		
						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【整正後】		
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】		

撮影箇所一覧表 (出来形管理)							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
								タックコート、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕			
								平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗 装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗 装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
								タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗 装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
								タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
								平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			



撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
									厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]											

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									修正状況	各層毎400mに1回 【修正後】		
									厚さ	各層毎200mに1回 【修正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【修正後】		
						幅	各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回【修正後】					

撮影箇所一覧表 (出来形管理)								写真管理項目			概要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青) 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	1,000m <sup>2</sup> に1回 〔整正後〕 ※コブを採取した場合は 写真不要 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により 「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕											
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									タックコート、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版 工)	石粉 ブライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									スリッパ ブライムコート	80mに1回 〔据付後〕		
									鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕		
									平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
目地段差	1工事に1回											

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版 工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕											

撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目			摘要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青) 安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									厚さ	1,000m <sup>2</sup> に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」により 「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕											
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
									タックコート、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式 を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用いた 出来形管理要領（舗装工 事編）（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）												
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
								厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			
								平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	##	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉 ブライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
								鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕			
								横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所1回 〔据付後〕			
								縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部タイパー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕			
								平坦性	1工事に1回〔実施中〕			
								厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			
目地段差	1工事に1回											



撮影箇所一覧表 (出来形管理)							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
								幅	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			
								幅	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
								厚さ	1,000m2に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
								修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
								タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
								厚さ	1,000m <sup>2</sup> に1回 〔修正後〕			
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
								修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
								厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
								修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
								厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
									修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要		
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
									修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
									タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	6	一般 舗装 工	15		路面切削工	幅 厚さ（基準高）	1 施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領（舗装工事編） （案）」による場合は1工 事に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-15

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	16	舗装打換え工	幅延長 厚さ	1施工箇所 に1回 （施工後）	代表箇所 各1枚	3-2-6-16

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	17	オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-6-17
								タックコート	各層毎に1回〔散布時〕		
								整正状況	400mに1回〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	2	路床安定処理工	施工厚さ幅	40mに1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-7-2
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	3	置換工	置換厚さ幅	40mまたは1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-7-3
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	5	パイルネット工	厚さ幅	40mまたは1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-7-5
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	6	サンドマット工	施工厚さ幅	40mまたは1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-7-6
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	7 8	パーチカドレーン工（サンドドレーン工）（ベーパードレーン工）（袋詰式サンドドレーン工） 締固め改良工（サンドコンパクションパイル工）	打込長さ 出来ばえ	200m2または1施工箇所1回〔打込み前後〕	代表箇所各1枚	3-2-7-7
								杭径 位置・間隔	200m2または1施工箇所1回〔打込後〕		
								砂の投入量	全数量〔打込前後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）												
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所につき1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
									深度	1施工箇所につき1回 〔打込前後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	7	地盤改良工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m <sup>3</sup> ～4,000m <sup>3</sup> につき1回、または施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40mまたは1施工箇所につき1回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
									数量	全数量〔打込後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所につき1回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
									配置誤差	1施工箇所につき1回 〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	200mまたは1施工箇所につき1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mにつき1回	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	250mまたは1施工箇所につき1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	250mまたは1施工箇所につき1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	9	地中連続壁工 (壁式)	連壁の長さ 変位	40mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-9	
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	10	地中連続壁工 (柱列式)	連壁の長さ 変位	40mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-10	
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	22	法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ず る		3-2-10-22	
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	1	1	铸造費 (金属支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-1
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	1	2	铸造費 (大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-1
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-1
									製作状況	適宜 〔製作中〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所 に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-1

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要		
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	3	1	桁製作工(仮組立による 検査を実施する場合) (シミュレーション仮組 立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-3 ※シミュレーショ ン仮組立検査の場 合は仮組立寸法を 省略
									製作状況	適宜〔製作中〕		
									仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回または1工事に1 回〔仮組立時〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しな い場合)	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-3
									製作状況	適宜〔製作中〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作 工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回または1工事に1 回〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-3
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-4
									製作状況	適宜〔製作中〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-5
									製作状況	適宜〔製作中〕		
									仮組立寸法	1橋に1回または1工事に1 回〔仮組立時〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-6
									製作状況	適宜〔製作中〕		
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	12	工場 製作 工	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-7
									製作状況	適宜〔製作中〕		



撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	8	アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回または1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-8
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	9	プレビーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-9
								製作状況	適宜 〔製作中〕		
								仮組立寸法	1橋に1回または1工事に1回 〔仮組立時〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	10	鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-10
								製作状況	適宜 〔製作中〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	11	工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-12-11
								素地調整状況 (塗替)	部材別 〔施工前後〕		
								塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	13	橋梁架設工	1	架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラバラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	3-2-13-1

撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
									土羽土の厚さ	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工中〕		
									法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200mまたは1施工箇所 に1回〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
									ラス鉄網の重ね合せ寸法	200mまたは1施工箇所 に1回〔吹付前〕		
									厚さ(検測孔)	200m2または1施工箇所 に1回〔吹付後〕		
									法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕		
									材料使用量	1工事に1回〔混合前〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200mまたは1施工箇所 に1回〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-3
									ラス鉄網の重ね合せ寸法	200mまたは1施工箇所 に1回〔吹付前〕		
									法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕		
									厚さ(検測孔)	200m2または1施工箇所 に1回〔吹付後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
3	土木工事共通編	2	一般施工	14	法面工	6	アンカー工	削孔深さ	1施工箇所1回〔削孔後〕	代表箇所各1枚	3-2-14-6
								配置誤差	1施工箇所1回〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	15	擁壁工	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120mまたは1施工箇所1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	3-2-15-1
								厚さ 幅 高さ	200mまたは1施工箇所1回〔型枠取外し後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	15	擁壁工	2	プレキャスト擁壁工	据付状況	200mまたは1施工箇所1回〔理戻し前〕	代表箇所各1枚	3-2-15-2
3	土木工事共通編	2	一般施工	15	擁壁工	3	盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	高さ 鉛直度	120mまたは1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-15-3
3	土木工事共通編	2	一般施工	15	擁壁工	4	井桁ブロック工	裏込厚さ	120mまたは1施工箇所1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	3-2-15-4
								法長 厚さ	200mまたは1施工箇所1回〔施工後〕		
3	土木工事共通編	2	一般施工	16	浚渫工	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	3-2-16-1
3	土木工事共通編	2	一般施工	18	床版工	1	床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回〔打設前後〕	代表箇所各1枚	3-2-18-1

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
6	河川編	1	築堤護岸	7	法覆護岸工	4	護岸付属物工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-1-7-4	
6	河川編	1	築堤・護岸	10	水制工	8	杭出し水制工	径 杭長	1施工箇所 に1回 〔打込み前〕	代表箇所 各1枚	6-1-10-8	
								幅 方向	1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
6	河川編	1	築堤・護岸	13	光ケーブル配管工	3	配管工	配管状況	100mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	6-1-13-3	
6	河川編	1	築堤・護岸	13	ケーブル配管工	4	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	6-1-13-4	
6	河川編	3	樋門樋管	5	樋門樋管 本体工	6	1	函渠工 (本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-6
6	河川編	3	樋門・樋管	5	樋門・樋管 本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120mまたは1施工箇所 に1回 〔巻立前〕	不要	6-3-5-6
6	河川編	3	樋門・樋管	5	樋門・樋管 本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-7
6	河川編	3	樋門・樋管	5	樋門・樋管 本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-8

撮影箇所一覧表 (出来形管理)							写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
6	河川編	4	水門	6	水門本体工	7 8 9 10 11	床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-4-6-7
6	河川編	4	水門	9	鋼管理橋上部工	10	1 支承工(鋼製支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	6-4-9-10
6	河川編	4	水門	9	鋼管理橋上部工	10	2 支承工 (ゴム支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	6-4-9-10
6	河川編	4	水門	12	橋梁付属物工〔鋼管理橋〕	4	地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-4
6	河川編	4	水門	12	橋梁付属物工〔鋼管理橋〕	5 6	橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-5
6	河川編	4	水門	12	橋梁付属物工〔鋼管理橋〕	7	検査路工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-7

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	摘要			
										6	河川編	5
6	河川編	5	堰	7	固定堰本 土工	8 9 10	堰本土工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10	
6	河川編	5	堰	8	魚道工	3	魚道本土工	厚さ 幅 高さ	200mまたは 測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-8-3	
6	河川編	5	堰	9	管理橋下 部工	2	管理橋橋台 工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-9-2	
6	河川編	6	排水機 場	4	機場本 土工	6	本土工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-6-4-6	
6	河川編	6	排水機 場	4	機場本 土工	7	燃料貯油槽 工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	適宜	6-6-4-7	
6	河川編	6	排水機 場	5	沈砂池 工	7	コンクリート 床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-6-5-7	
6	河川編	7	床止め ・床固め	4	床止め 工	6	1	本土工 (床固め本 土工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所 毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-4-6
6	河川編	7	床止め ・床固め	4	床止め 工	8	1	水叩工	幅 高さ	測定箇所 毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-4-8

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
6	河川編	7	床止め・床固め	5	床固め工	6	側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-5-6
6	河川編	8	河川維持	4	除草工	2	堤防除草工 道路除草工	幅	200mまたは1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚	6-8-4-2
10	道路編	14	道路維持	2	除草工	1					
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	5	護岸基礎工	5	場所打コンクリート工	幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	7-1-5-5
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	5	護岸基礎工	6	海岸コンクリートブ ロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-1-5-6
								ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
								据付状況	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	6	護岸工	4	海岸コンクリートブ ロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-1-6-4
								ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔施工後〕		
								法長 厚さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	6	護岸工	5	コンクリート被覆工	法長 厚さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-6-5
								裏込材厚	40mまたは1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	8	天端被覆工	2	コンクリート被覆工	幅 厚さ	200mまたは1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-8-2
								基礎厚	40mまたは1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	9	波返工	3	波返工	幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-9-3

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	4	突堤基礎工	4	捨石工	法長 天端幅	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	7-2-4-4	
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	4	突堤基礎工	5	吸出し防止工	幅	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	7-2-4-5	
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	2	捨石工	法長 天端幅	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-2	
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	5	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-5	
								ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕			
								天端幅	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕			
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	9	石砕工	厚さ 高さ	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-9	
								間詰石状況	1施工箇所に1回〔施工後〕			
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	10	場所打コンクリート工	幅 高さ	200mまたは1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-10	
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底板厚さ ブーミング高さ	1基に1回〔製作後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-11
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所に1回〔据付後〕	代表箇所各1枚	7-2-5-11



撮影箇所一覧表（出来形管理）								写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	11	3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-11
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	6	根固め工		2	捨石工	法長 天端幅	200mまたは1施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-6-2
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	6	根固め工		3	根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-6-3
								ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕			
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	7	消波工		3	消波ブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-7-3
								ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			摘要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
7	河川 海岸編	3	海城堤防 (人工リーフ、 離岸堤、 潜堤)	3	海城堤基礎工	3	捨石工	法長 天端幅	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-3-3-3	
8	砂防 編	1	砂防 堰堤	3	工場 製作工	4	鋼製堰堤 仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	8-1-3-4	
								製作状況	適宜 〔製作中〕			
8	砂防 編	1	砂防 堰堤	8	コンクリート 堰堤工	4	コンクリート 堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回 〔施工中〕	各月1枚	8-1-8-4	
								打継目処理 打込・養生	4リフトに1回 〔施工中〕			代表箇所 各1枚
								天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕			代表箇所 各1枚
8	砂防 編	1	砂防 堰堤	8	コンクリート 堰堤工	6	コンクリート 側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-6	
8	砂防 編	1	砂防 堰堤	8	コンクリート 堰堤工	8	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-8	

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種		撮影項目			概要		
							撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
8	砂防編	1	砂防堰堤	9	鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5
8	砂防編	1	砂防堰堤	9	鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本體工 (透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5
8	砂防編	1	砂防堰堤	9	鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-6
8	砂防編	2	溪流保全工	5	床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200mまたは測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-2-5-8
8	砂防編	3	斜面対策	6	山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120mまたは1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	不要	8-3-6-4
8	砂防編	3	斜面対策	7	地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	8-3-7-4
8	砂防編	3	斜面対策	7	地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	8-3-7-5
8	砂防編	3	斜面対策	9	抑止杭工	6		合成杭工	偏心量 数量	1施工箇所 に1回 〔施工後〕 全数量〔打込後〕	代表箇所 各1枚	8-3-9-6

撮影箇所一覧表 (出来形管理)						写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
9	ダム編	1	コンクリートダム	4	ダムコンクリート工	コンクリートダムエ(本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	1	コンクリートダム	4	ダムコンクリート工	コンクリートダムエ(水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
						打継目処理	奇数ブロック毎に岩着部 中間 リフトに1回			
9	ダム編	1	コンクリートダム	4	ダムコンクリート工	コンクリートダムエ(副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	1	コンクリートダム	4	ダムコンクリート工	コンクリートダムエ(導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	2	フィルダム	4	盛立工	コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-5
9	ダム編	2	フィルダム	4	盛立工	フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-6
9	ダム編	2	フィルダム	4	盛立工	ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-7

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目			摘要
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
9	ダム編	2	フィルダム			フィルダム (洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2
9	ダム編	3	基礎グラウチング	3	ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差		ブロック毎に1回 〔施工中〕	適宜	9-3-3
							コア	地質変化毎全数量 〔抜取後〕		
10	道路編	1	道路改良	3	工場製作工	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	10-1-3-2
10	道路編	1	道路改良	9	カルバート工	場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	100mまたは1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-1-9-6
10	道路編	1	道路改良	11	落石雪害防止工	落石防止網工	幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-4
10	道路編	1	道路改良	11	落石雪害防止工	落石防護柵工	高さ	200mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-5
10	道路編	1	道路改良	11	落石雪害防止工	防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-6
10	道路編	1	道路改良	11	落石雪害防止工	雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-7

撮影箇所一覧表（出来形管理）							写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘要		
							撮影頻度	時期				
10	道路編	1	道路改良	12	遮音壁工	4	遮音壁基礎工	幅高さ	基礎タイプ毎5箇所1回 （施工前は必要に応じて） （施工前後）	適宜	10-1-12-5	
10	道路編	1	道路改良	12	遮音壁工	5	遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1箇所1回 （施工後）	代表箇所 各1枚	10-1-12-5	
10	道路編	2	舗装	4	舗装工	歩道舗装工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 （施工中）	代表箇所 各1枚	10-2-4		
							整正状況	各層毎400mに1回 （整正後）				
							厚さ	各層毎200mに1回 （整正後）				
							幅	各層毎80mに1回 （整正後）				
10	道路編	2	舗装	4	舗装工	歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 （整正後）	代表箇所 各1枚	10-2-4		
							タックコート、プライムコート	各層毎に1回 （散布時）				
							平坦性	1工事に1回 （実施中）				
10	道路編	2	舗装	5	排水構造物工（路面排水工）	9	排水性舗装用路肩排水工	掘付状況	200mまたは1箇所1回 （施工中）	不要	10-2-5-9	
10	道路編	2	舗装	7	踏掛版工	4	踏掛版工 （コンクリートエ） （ラバーシュー） （アンカーボルト）	（コンクリート工） 各部の厚さ 各部の長さ	1箇所1回 （施工後）	代表箇所 各1枚	10-2-7-4	
								（ラバーシュー） 各部の長さ 厚さ				
								（アンカーボルト） 中心のずれ アンカー長				
10	道路編	2	舗装	9	標識工	4	1	大型標識工 （標識基礎工）	幅高さ	基礎タイプ毎5箇所1回 （施工後）	適宜	10-2-9-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
10	道路編	2	舗装	9	標識工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	10-2-9-4
10	道路編	2	舗装	12	道路付属施設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	10-2-12-5
10	道路編	2	舗装	12	道路付属施設工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100mまたは1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	10-2-12-5-2
10	道路編	2	舗装	12	道路付属施設工	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	10-2-6
10	道路編	3	橋梁下部	3	工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回または1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-3-3-3
								製作状況	適宜 〔製作中〕			
								仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回または1工事に1回 〔仮組立時〕			
10	道路編	3	橋梁下部	6	橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	10-3-6-8
10	道路編	3	橋梁下部	7	R/C橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	10-3-7-9
10	道路編	3	橋梁下部	7	R/C橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	10-3-7-9

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			概要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
10	道路編	3	橋梁下部	8	鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチングエ (I型・T型)	幅 高 さ 長 さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10	道路編	3	橋梁下部	8	鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチングエ (門型)	幅 高 さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10	道路編	3	橋梁下部	8	鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10	道路編	3	橋梁下部	8	鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10	道路編	3	橋梁下部	8	鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-11
10	道路編	4	鋼橋上部	3	工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-4-3-9
									製作状況	適宜 〔製作中〕		
10	道路編	4	鋼橋上部	8	橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔 長	1施工箇所に1回〔削孔 後〕	代表箇所 各1枚	10-4-8-3
10	道路編	5	コンクリート橋上部	6	プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工 (現場)	原寸状況	1橋に1回または1工事に1 回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-5-6-2
									製作状況	適宜 〔製作中〕		
									仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回または1工事に1 回〔仮組立時〕		
									幅 高 さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		



撮影箇所一覧表 (出来形管理)							写真管理項目				
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目			概要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
10	道路編	6	トンネル (N A T M)	4	支保工	3	吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	10-6-4-3
								湧水状況	適宜 〔掘削中〕		
								吹付面の清掃状況	80mに1回 〔清掃後〕		
								金網の重ねせ状況	80mに1回 〔2次吹付前〕		
								吹付け厚さ(検測孔)	80mに1回 〔吹付後〕		
10	道路編	6	トンネル (N A T M)	4	支保工	4	ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施エパターン毎または80m に1断面〔穿孔中〕	代表箇所 各1枚	10-6-4-4
								ロックボルト注入状況	施エパターン毎または80m に1断面〔注入中〕		
								ロックボルト打設後の状況	施エパターン毎または80m に1断面〔打設後〕		
10	道路編	6	トンネル (N A T M)	5	覆工	3	覆エコンクリート工	覆工 (巻立空間)	1センチルに1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	10-6-5-3
								覆工 (厚さ)	1センチルに1回 〔型枠取外し後〕		
								幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
10	道路編	6	トンネル (N A T M)	5	覆工	5	床版コンクリート工	幅 高さ	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-6-5-5
10	道路編	6	トンネル (N A T M)	6	イン パート 工	4	インパート本体工	インパート (厚さ)	40mまたは1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	10-6-6-4
								幅(全幅)	200mまたは1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
10	道路編	6	トンネル（NATM）	8	坑門工	4	坑門本体工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	10-6-8-4	
10	道路編	6	トンネル（NATM）	8	坑門工	5	明り巻工	覆工 （巻立空間）	40mまたは1施工箇所1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	10-6-8-5	
								覆工 （厚さ）	40mまたは1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕			
								幅（全幅） 高さ（内法）	200mまたは1施工箇所1回 〔施工後〕			
10	道路編	11	共同溝	6	現場打構築工	2	現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200mまたは1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-11-6-2	
10	道路編	11	共同溝	6	現場打構築工	4	カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	10-11-6-4	
10	道路編	11	共同溝	6	現場打構築工	5	1	防水工 （防水）	幅	100mまたは1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-11-6-5
10	道路編	11	共同溝	6	現場打構築工	5	2	防水工 （防水保護工）	厚さ	100mまたは1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-11-6-5
10	道路編	11	共同溝	6	現場打構築工	5	3	防水工 （防水壁）	高さ 幅 厚さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-11-6-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目					
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目			概要		
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
10	道路編	11	共同溝	7	プレキャスト躯体工	据付状況	200mまたは1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	10-11-7-2		
10	道路編	12	電線共同溝	5	電線共同溝工	敷設状況	100mまたは1施工箇所 に1回 〔敷設後〕	代表箇所 各1枚	10-12-5-2		
10	道路編	12	電線共同溝	5	電線共同溝工	3	プレキャストボックス エ (特殊部)	据付状況	100mまたは1施工箇所 に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	10-12-5-3
10	道路編	12	電線共同溝	5	電線共同溝工	4	現場打ちボックスエ (特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100mまたは1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-12-5-4
10	道路編	12	電線共同溝	6	付帯設備工	2	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	不要	10-12-6-2
10	道路編	14	道路維持	4	舗装工	5	切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-14-4-5
								タックコート	各層毎 に1回 〔散布時〕		
								整正状況	400m に1回 〔施工後〕		
10	道路編	14	道路維持	4	舗装工	7	路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎 400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	10-14-4-11
								整正状況 厚さ	各層毎 400mに1回 〔整正後〕		
10	道路編	14	道路維持	4	舗装工	11	グルーピング工	出来ばえ	施工日 に1回 〔施工前後〕	不要	10-16-3-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			概要			
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
10	道路編	16	道路修繕	3	工場製作工	4	桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回または1工事に1回〔原寸時〕	代表箇所各1枚	10-16-3-4	
								製作状況	適宜〔製作中〕			
								仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回または1工事に1回〔仮組立時〕			
10	道路編	16	道路修繕	22	橋梁付属物工	4	落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回または1工事に1回〔材料搬入時〕	代表箇所各1枚	10-16-22-4	
								出来ばえ	適宜〔施工中〕			
その他	その他						舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	その他
その他	その他						ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	100mまたは1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	適宜	その他
								仮締切(土石)	巻出し厚	100mまたは1施工箇所に1回〔巻出し時〕	適宜	その他
									転圧状況	転圧機械が変わる毎に1回〔締固時〕		その他
								仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ	100mまたは1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	適宜	その他
								基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎に1回〔施工中〕	適宜	その他
									土質、岩質	土質、岩質変わる毎に1回〔掘削中〕		その他
									岩盤清掃状況	1施工箇所に1回〔清掃前後〕		その他
								堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に1回〔施工中〕	適宜	その他
									打継目処理、打込養生	8リフトに1回〔施工中〕		その他
								堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回〔据付後〕	適宜	その他
								堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回〔据付後〕	適宜	その他
								堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5リフトに1回〔据付後〕	適宜	その他
堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1施工箇所に1回〔据付後〕	適宜	その他								

撮影箇所一覧表（出来形管理）						写真管理項目			摘要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他	その他				トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	その他
						トンネル (矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他
							湧水状況	適宜 〔掘削中〕		その他
							理設支保工(建込間隔、寸法、基数)	100mまたは1施工箇所につき1回 〔建込後〕		その他
							湧水処理工設置状況	全数量 〔設置後〕		その他
							集水渠(幅、高さ、位置)	100mまたは1施工箇所につき1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他
							地下排水工(管接合掘付状況)			
							地下排水工(フィルター厚さ)	100mまたは1施工箇所につき1回 〔投入前後〕	代表箇所 各1枚	その他
						矢板設置状況	岩質の変わる毎に1回 〔設置後〕	その他		
						グラウト材料使用量	全数量 〔使用前後〕	その他		
その他	その他				トンネル関係	シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他
						セグメント組立状況	1工事に1回 〔組立後〕	その他		
						二次覆工(セグメント清掃状況)	1工事に1回 〔清掃後〕	その他		
						二次覆工の厚さ	1スパンにつき1回 〔型枠取外し後〕	その他		

撮影箇所一覧表（出来形管理）					写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
その他	その他				維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回〔施工前後〕	不要	その他	
						コンクリート舗装	目地掃除	3,000m <sup>2</sup> に1回〔施工前後〕	不要	その他	
							目地充填	3,000m <sup>2</sup> に1回〔施工後〕		その他	
							注入工、削孔状況(位置、間隔)	2,000m <sup>2</sup> に1回〔削孔後〕		その他	
							注入工、注入圧	2,000m <sup>2</sup> に1回〔注入時〕		その他	
							目地亀裂防止材、張付け状況	3,000m <sup>2</sup> に1回〔張付け後〕		その他	
							局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回または1施工箇所に1回〔施工前後〕		その他	
							路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回または1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	その他
							道路除草	出来ばえ	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	その他
							路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	適宜	その他
							新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	その他
							新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5力所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	その他
							新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎5力所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	その他
							視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回〔施工後〕	適宜	その他

撮影箇所一覧表（出来形管理）					写真管理項目						
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
その他	その他				維持修繕工関係	清掃(路面、標識、側溝、集水樹)	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	その他	
						区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	その他	
							材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	その他	
						街路樹植樹	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	その他	
						街路樹補強補植	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	その他	
						街路樹剪定	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕	適宜	その他	
						街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工中〕	適宜	その他	
						街路樹雪囲	出来ばえ	適宜〔施工後〕	適宜	その他	
						排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	適宜	その他	
						凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 施工中	適宜	その他	
							材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	その他	
その他	その他				維持修繕工関係	河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	その他	
						応急処置	処理の状況	その都度〔施工前後〕	適宜	その他	
						鉄筋・無筋コンクリート	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回または1施工箇所(組立後)	適宜	その他
							コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回〔施工時〕	1施エブロック各1枚	その他
						養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回〔養生時〕		その他	

# 別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

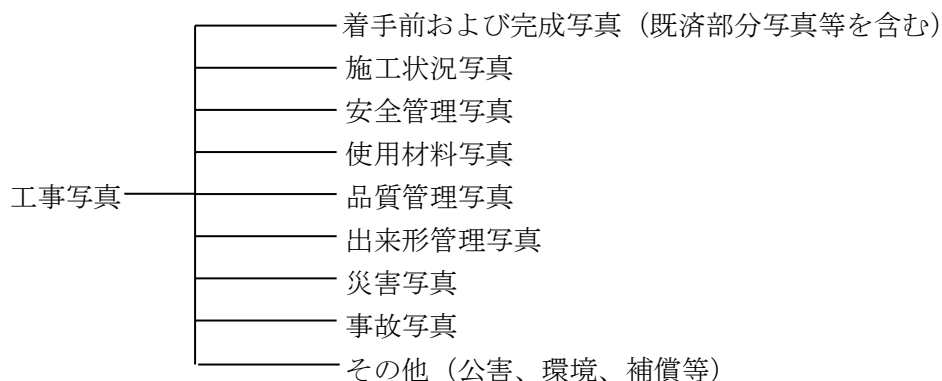
## 1. 総則

### 1-1適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

### 1-2工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



## 2. 撮影

### 2-1撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

### 2-2撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法
- ⑥略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

### 2-3情報化施工および3次元データによる施工管理

「T S等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「R T K-G N S Sを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理



を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。また、「TS・GNS Sを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

#### 2-4写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

#### 2-6撮影の仕様

写真の色彩や大きさは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。

ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

着手前、完成写真等はキャビネ版またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。監督職員が指示するものはその指示した大きさとする。

#### 2-7留意事項

写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

- (1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

- (2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版又はA4版とする。

- (3) 電子媒体は「電子納品の手引き（案）福井県版」に従って提出するものとする。

#### 4. その他

写真管理基準（案）撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。